

の癌で好中球浸潤・慢性炎症細胞浸潤・*H. pylori* 密度、胃型の癌で固有腺萎縮・腸上皮化生の程度が高い傾向を認め、血清学的にも胃型の癌の背景粘膜で固有腺萎縮が有意に強いことが示された。

【結論】*H. pylori* 感染が胃癌の増殖に促進的に働く可能性が示された。また、*H. pylori* 感染による急性・慢性炎症が分化型腺癌における腸型の粘液形質発現に関与し、胃型の分化型腺癌の背景粘膜では固有腺萎縮が進行していることが示された。

2. Potential involvement of IL-8 and its receptors in the invasiveness of pancreatic cancer cells (ヒト膵癌における IL-8・IL-8 レセプターの発現と浸潤能との関連)

栗田 幸央

創生医科学専攻先進医療開発科学講座 (分子病態制御内科学)

【背景】IL-8 は、ケモカインファミリーに属し、炎症や血管新生との関与が報告されているが、膵癌での詳細な検討は少ない。

【目的】膵癌における IL-8 及びレセプターの発現と、その作用を検討した。

【方法】膵癌切除検体と細胞株を対象とし、IL-8 及びレセプターの発現を、免疫染色、RT-PCR 法及び免疫沈降法で、細胞株と IL-8 の結合能を受容体結合実験で検討した。細胞株に IL-8 を添加し、増殖と浸潤に与える影響及び MMP の発現と活性の変化を検討した。

【結果】切除検体では、約半数に IL-8 及びレセプターの発現を認めた。すべての細胞株において、IL-8 及びレセプターの発現を認め、IL-8 との間に特異的結合を認めた。外来性の IL-8 により、浸潤能の亢進を認め、MMP-2 の発現と活性の亢進を認めた。

【結語】IL-8 は、膵癌において、MMP-2 活性を促進し、浸潤能に関与している可能性が示唆された。

3. Atrial contraction after a surgical isolation of the left atrial posterior wall concomitant with a mitral valve replacement

(心房細動を合併した僧帽弁膜症患者における左心房後壁離断術後の左心房機能)

竹中 創

創生医科学専攻先進医療開発科学講座 (分子病態制御内科学)

【背景】僧帽弁膜症患者で心房細動を合併した患者に対して、左心房後壁離断術を行うと洞調律に復帰することはすでに報告されている。しかしこの術式における術後左心房機能を評価した研究はない。

【対象】対象は1999年1月から2000年12月まで当院にて僧帽弁置換術・左心房後壁離断術を施行された患者のうち洞調律に復帰した患者14人(63±14歳)。術前、術後2-3週間後、1年後に心エコーを用いて心機能評価を行った。

【結果】左心房径は術前と比べ術後は有意に減少(術前50.1±5.1 mm, 2-3週間後:46.0±4.9 mm; p<0.05, 1年後:44.0±6.1 mm; p<0.05)した。左心室径・左心室駆出率は術前後で変化はなかった。左心房機能の指標である Time-velocity integral of the atrial wave (Ai), atrial filling fraction は術後2-3週間後と比べて1年後では有意に増加(Ai:4.5±2.1 cm vs. 5.8±2.3 cm; p<0.05; atrial filling fraction: 15.4±7.7% to 19.2±8.3%; p<0.05)した。

【総括】左心房後壁離断術は洞調律復帰・維持だけではなく、左心房機能の改善も期待できる。

【考察と将来の展望】左心房後壁離断術後の心房機能の改善は、僧帽弁膜症患者の術後の心原性塞栓症を減少することが期待できる。

4. PDE5 Inhibitor Sildenafil Citrate Augments Endothelium-Dependent Vasodilation in Smokers (Phosphodiesterase Type 5 Inhibitor Sildenafil は smoker の血管内皮機能異常を改善する。)

木村 祐之

創生医科学専攻先進医療開発科学講座 (分子病態制御内科学)

【目的】sildenafil は PDE5 の阻害剤であり、cGMP の分解を抑制し血管を拡張させる。また smoker には血管内皮機能異常が存在する。sildenafil が smoker の血管内皮機能に及ぼす影響を検討した。

【方法】若年男性 smoker (S 群, N=10) と若年男性 non-smoker (N 群, N=10) において、acetylcholine (ACh) と sodium nitroprusside (SNP) に対する前腕血流量 (FBF) の変化を sildenafil (100 mg) 内服前後で plethysmograph を用い測定。NO 合成酵素阻害薬である NG-monomethyl-L-arginine (L-NMMA) 投与後に同様の測定を行った。

【結果】sildenafil 内服前の ACh (7.5 g/min) に対する FBF の反応性は、S 群では N 群に比して有意に低値であったが、SNP (1.5 g/min) に対する反応性は同等